

ICT 活用による業務の効率化

中核校	大樹町立大樹小学校	指定校	広尾町立広尾小学校、広尾町立豊似小学校 広尾町立広尾中学校、大樹町立大樹中学校
-----	-----------	-----	--

実践前の状況

- ・ 始業前の時間における、欠席児童への保護者連絡等、学級担任の業務が多く、授業準備等に影響が出ていた。
- ・ 朝の健康観察時、紙による集約に時間を要し、緊急時の判断及び対応が遅れる懸念があった。

実践の概要

教室と職員室をクラウドでつなぐ連絡システム

- ・ アプリを活用した保護者からの欠席連絡をクラウド上で教職員全員が共有できるようにするとともに、学級担任がクラウドを経由し、欠席児童への保護者連絡等を教室から職員室へ依頼することができるシステムを構築したことにより、学級担任は教室を離れることなく、授業準備や児童への指導を行うことができるようになった。

児童の健康状態を迅速に把握するデジタル健康観察

- ・ 紙による健康観察の集約から、クラウド上で集約する方法に変更したことにより、児童の健康状態の把握及び感染症流行時の正確な人数集約や緊急対応について、迅速に行うことができるようになった。また、教職員全員が全校児童の心身の状態を把握することから、複数で児童の日々の健康に目を配ることにつながった。

2024/2/15	職員室からの連絡	電話してなど教室からのヘルプ
1-1	〇〇欠席（腹痛）	
1-2		〇〇来ていません。 →OK、TELかけてみます
2-1	〇〇早退（4時間目終了後、給食食べない）	
2-2		〇〇からTELありましたか →通院のため遅刻との連絡あり
3-1		
3-2		

【クラウドによる連絡システム】

1月	氏名	1の1				
		1月	2火	3水	4木	5金
1		欠席	欠席			
2						
3				咳		
4						
5		鼻水	鼻水	出欠	出欠	出欠
6						
7			鼻水			
8						
9				のどの	のどの	
10						
11			咳			
12						

【クラウドによる健康観察】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔教頭など、職員室にいる職員の取組〕

- ・ 始業前の時間における保護者からの連絡に係る対応について、教室の学級担任から依頼される保護者への電話連絡等は教頭が行うなど、職員室にいる職員が担うことにより、学級担任は、登校してきた児童に向き合い、児童の朝の心身の状態を確認することに専念できるようにした。

〔養護教諭の取組〕

- ・ 養護教諭が、デジタル健康観察表を作成し、デジタル集計された全校の健康観察結果を全教職員と共有することにより、集計を短時間で行い、健康状態が気になる児童への個別観察を素早くできるよう工夫した。

成果（ ）と今後の課題（ ）

教職員アンケート「業務における ICT 活用度はステップの何段階目か」の項目について、活用が推進されていると実感している職員が増加した。

7月 ステップ1：56.6%、ステップ2：17.4% ステップ3：4.3%

12月 ステップ1：38.1%、ステップ2：28.6%、ステップ3：14.3%

教職員間で ICT 活用の差が生まれないう、クラウド活用の方法の周知徹底等、全教職員の共通理解の下、取組を推進する必要がある。